2014年1月28日

スーパーアセンション日記

No.2　初日

　私はNMCAAに在籍し3年になりますが、2013年の春からが一番気付きが多かったと思います。その中で特に自分にとって重要だったと思う事をシェアしたいと思います。

●自分の子供性を認める

　5月、「5次元」「魂」がテーマでした。私は「魂」の神聖さは多少感じる事ができているように思っていましたが、「5次元」のワクワク感というのはよく分かりませんでした。そこでワクワクするとはどういう事か探求してみました。本来ワクワクは内側から自然にあふれる事で探求する事ではないように思いましたが・・・。

キーワードになったのは「子供」「赤ちゃん」でした。存在そのものが希望とワクワクであふれていると想いました。そこから自分の「子供性」に思い当たりました。我々はみな、根源の子供である。

知識では分かっていても本当に自分の「子供性」を認めていないように感じました。

子供時代の経験に感謝し統合する事で、大人になっても子供であっていいのだと思うようになりました。

そうすると、ようやく「ワクワク」とは自ら楽しく創造していく事だと感じるようになりました。

●100％ポジティブになる。

　8月にもこれと関連するような事がありました。「5次元」とは100％ポジティブな世界です。

しかし「ポジティブ100％でいなければならない。」と思うと100％ポジティブではない状態にフォーカスしてしまいます。そこで、思考を変えました。「100％ポジティブな環境しか創造しない。」5次元は自ら創造していく世界です。だったらポジティブな日常しか創造しなければいい。自分が変化すれば、自分が創造する環境も自ずと変化していく。そう認識したとき、自らの創造した環境に責任を持つ事。それは「自立」でもあるのだと感じました。

●遷宮祭

　9月、ファシリテーターの先生から我々が伊勢の遷宮祭に参加するにあたり「神宮の巫女として行くのではない。神の子として行くのだ」と言われました。それはまさに根源の子供であるという意識が絶対に必要であり、そうでなければ地上で我々のミッションはなしえないのだと改めて感じました。それは「巫女」という感覚が強かった私にとって衝撃的な言葉でした。

しかしこの言葉から、マルテン・・・すべてである「神界」のマルと「神界の子」のテンの感覚がようやく少し掴む事ができました。無限の神界から産まれ、有限の世界に降り、再び無限の神の世界に戻る。それが日本に伝わる「神道＝神ながらの道」である。というのが理解できました。

　いよいよ１０月13日、I勢にて公式セミナーが、翌日14日は内宮の神楽殿にて昇殿参拝が行われました。

根源家族全員で御神体の御来光を迎えることができ本当に感動しました。自らが「根源の子供」であることを心から実感しました。

その裏では我々のハイアーセルフが1000次元まで登り、そこから3日3晩根源のフォトンを地上と地上セルフに降ろしてくれていたとAi先生から伺いました。

根源家族がいかに高次から愛され、期待されているかを感じました。

●ハートを開く実践

　11月からは根源家族も私も徹底的にハートを開く事に取り組みました。実践日記を毎日つけていくと日々の細やかな出来事が基礎になっていながら、実はハートは根源の愛のポータルである。という事に気付きました。人のハートは宇宙レベルの愛のポータルになるのだという思いは私の感覚を拡大させ、さらにハートが開くきっかけになりました。その頃から潜在的に私個人のテーマとして「人」というものが始まっていました。

自分は「人」であるはずなのに、なぜなのか。

その答えは11月末頃から公開された映画「かぐや姫」を見てはっきりしました。

映画のクライマックスで、かぐや姫が月に帰りたくない。虫も木も人もみんな愛おしい。この地上に残りたい。と月からの迎えの使者に訴えたシーンで号泣しました。

清らかで美しい月にいるより、地上で喜怒哀楽を経験しそれでも愛と光である人であること。それは月にいるよりはるかに強く美しい。私はこれをやりに地上に来たのだ。「人」になりに地上に来たのだ。

過去世を思い出した訳ではないけれど、その想いが本当に自分の内側から溢れ出た想いであるという確信がありました。

後日その事をファシリテーターの先生にお話ししたところ「地球お誕生日ですね。」と言って頂きました。

地上で「人」として生きるという強い誇りと想い。それは地球に繋がることであり、「神の子」そのものの姿であり、「根源の愛」のポータルである「ハート」を持ち、根源の愛と光を地上に伝えていける存在＝神人のベースなのだと感じました。

●「愛の化身」になる実践

　さらに13月13日の公式セミナーで、新たな課題と共に自らの感覚の拡大を経験しました。

この日、Ａｉ先生から高次からのメッセージとして「日の本を背負って下さい。」と伝えて頂きました。

このメッセージを聞いた時私の中で「人」から、さらに「日本人」という意識が強くなったと思います。「日本」とは世界の雛型である。だからこそ、この日本に生まれたものとして、日本を守っていく事は、世界と地球と人の地上での神化のアカシックを守るという事になります。

　Ａｉ先生を中心にして集った根源家族がその繋がりを強め、拡大していく事。根源家族がＡｉ先生と同質の太陽そのものになっていく事。それが日の本を守る事だと感じました。

そこから自分は、小さくともＡｉ先生と同じ太陽になるのだという決意ができました。

Ａｉ先生と同質の太陽に成る為の実践として「愛の化身」になるという課題がありました。その課題に取り組んでいるうちに私の中からある想いが湧いてきました。

それは「私は『愛の化身』になりに来たのではない。産まれた時からずっと『愛の化身』であり、そうでなかった時は一瞬たりとも無かった。」という想いです。ただちょっと忘れていただけ・・・。そう想った時、ハートに熱く、赤い光が輝いたように感じました。それは私だけの中にあるのではなく人が元々持っている愛の炎、太陽なのだと感じました。

もう二度と、この炎を忘れる事はない。この炎を燃やし続けたまま生きる事が私にとっての「日の本を背負って生きる。」事だと思います。

●自らの人生を振り返る

　13月25日のセミナーでAi先生から「自分にとって何が重要か。いったんすべてをクリアにし、ハートと魂で感じる。そこからしか全体の核心に繋がらない。」と伺いました。

　自分にとって何が重要か考えた時、気付くと子供のころからの人生を振り返っていました。出来事の一つ一つと、全体の流れを観て感じたのは、「自分は生きて世界を守ると選択した。そしてそうなるよう、すべて整えられていた。」という事でした。

そして2013年の一つ一つの課題もまた、ここへ辿り着く流れであったと気付きました。

ならば、しっかり生きよう。どうせならうんと満ち足りた、幸せな生き方をしよう。私を見た人が神化の道を選ばざるを得ないぐらい、幸せな神化の道を生きよう。

私は「幸福な神化」のDNAになる。

そのやり方で世界を守り、人の神化の道を守る。

それが私とハイアーが決めたミッションであり、産んでくれた両親、導いてくれた高次と先生方への恩返しだと感じました。

　最後に私が、自分が本当に成長した。と実感できた事は人を見て「美しい」と感じられるようになった事です。

セミナーでお話をされているＡｉ先生をエネルギーごと見て「美しい」と感じました。久しぶりにあった根源家族のメンバーの神化した姿を見て「美しい」と思いました。

そして私の母の穏やかな笑顔を見て、本当に「美しい」と涙が出ました。

人は生まれながらにして愛なのだと感じる事ができるようになりました。

これからたくさんの「美しい」を見ていきたい。だからもっともっと神化し、人を、日本を、地球を愛し、守っていきたいです。

Ａｉ先生、直日女先生、根源家族の皆様に心からお礼を申し上げます。